

平成 28 年度 主要事業

1. しずおかエンジェルプロジェクト
2. 産後ケア事業/ママケアデイサービス事業
3. 不妊治療費助成
4. 幼児期の教育・保育の施設整備
5. 放課後児童クラブの整備・運営
6. 放課後子ども教室推進事業
7. 子どもの貧困対策の推進
8. わかものまちな推進事業



目的	未婚化・晩婚化に伴う少子化への対策のため、男女の出会いの機会の創出や、地域ぐるみで結婚を応援する気運の醸成を図る。
----	---



事業概要	<p>【現状と課題】</p> <p>①「いずれ結婚したい」と考える20～30代の交際相手がいない未婚男女の半数以上が「出会いの場がない」ことをその理由として挙げている（市調査）。</p> <p>②結婚に対する漠然としたイメージを人生設計の観点から具体化する機会が必要である。</p>	
	<p>【平成28年度取組方針】</p> <p>①更なる出会いの機会を創出する</p> <p>②若年層へのライフデザインに関する意識啓発</p>	
	<p>【取組内容】</p> <p>①民間との連携、広域連携の推進による出会いの機会創出</p> <p>②ライフデザイン構築に関する高校生・大学生向けセミナーの開催</p>	

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、10/10)	市債	その他	
当初予算額	4,388	2,739			1,649
前年度予算額	2,927				2,927

産後ケア事業／ママケアデイサービス事業 子ども未来局

目的	出産後の負担を軽減するため、助産師による母体の保護や保健指導などのサービスの提供（産後ケア事業）、相談支援や交流・休憩の場の提供（ママケアデイサービス事業）により、母子の孤立感を解消し、もう一人産みたくなる環境を整える。
----	--



事業概要	1 産後ケア事業 拡充 1,882千円 出産直後の身体的機能の回復や育児の不安感が高い方を対象に、母体の保護や保健指導などを提供し、回復に向け、心と体をケアする。 ○実施内容 ① 宿泊型 助産所等に宿泊し、授乳、沐浴の指導、母体管理を行う。【拡充】 ② デイケア型 利用希望者に助産所等に来てもらい、指導を行う。【本格実施】 ③ 訪問型 助産師が対象者宅に赴き育児指導や健康管理を行う。【本格実施】
	2 ママケアデイサービス事業 新規 6,800千円 0歳児ママ（4か月～）が子育てを楽しめるようアットホームな空間でほっと一息つけ、先輩ママや専門家と交流・情報交換できる場を提供する。 ○実施内容 ① 専門職（助産師・保育士等）又は子育て経験者（先輩ママ）による育児相談 ② ほっと一息つける休息の場の提供 ③ 子育て中の母同士や先輩ママとの交流の機会の提供



【平成28年度拡充内容】


- 1 産後ケア事業の拡充
 - ① 宿泊型の利用者負担の軽減
 現行 13,000円/泊 → 一般 9,000円/泊（非課税世帯等 5,000円/泊）
 - ② デイケア型、訪問型の本格実施
- 2 ママケアデイサービス事業の創設

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	8,682	2,968		2,745	2,969
前年度予算額	1,000	500			500

目的	出産の希望をかなえるとともに少子化対策にも資するため、妊娠を望む夫婦の不妊症・不育症治療に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。
----	--



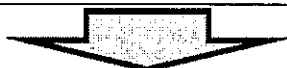
事業概要	【対象者】 静岡市に住民登録がある夫婦 【対象治療】 特定不妊治療 指定医療機関で受けた体外受精、顕微授精、無精子症に係る男性不妊治療 一般不妊治療 産婦人科他で受けた人工授精 不育症治療 不育症治療に係る保険適用の検査・治療 【助成内容】 ・特定不妊治療 1回の治療につき上限15万円を助成（222,225千円） ☆初回の治療は15万円上乗せし、 <u>上限30万円</u> を助成 2回目及び3回目は5万円上乗せし、 <u>上限20万円</u> を助成 ☆男性不妊治療を受けた場合はさらに <u>上限15万円</u> の助成を追加 ※助成回数は通算6回（治療開始が40歳以上の場合は3回まで） ・一般不妊治療 治療費の7割、 <u>上限6.3万円</u> を助成（12,600千円） 治療開始時の妻の年齢が40歳未満 ・不育症治療 治療費の5割、 <u>上限10万円</u> を助成（3,000千円） 【不妊治療費助成事業の拡充内容】 （★印は静岡市の独自助成） 平成26年度拡充内容 ★①治療開始から3回分の申請に対し上限5万円の上乗せ ★②所得制限限度額（730万円）の撤廃 ★③人工授精による一般不妊治療を助成対象 平成27年度拡充内容 ★男性不妊治療（無精子症に係る治療）を助成対象 平成28年度拡充内容 ①初回の治療の申請に対する助成額を拡充（20万円→30万円に増額） ②男性不妊治療（無精子症に係る治療）に対する助成額を拡充（10.5万円→15万円に増額） ★③不育症治療を助成対象 (千円)				
	 <p>充実度 政令指定都市 トップレベル (静岡市調べ)</p>				
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	237,825	103,800			134,025
前年度予算額	231,125	90,225			140,900

【拡充】

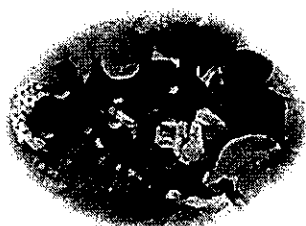
幼児期の教育・保育の施設整備

子ども未来局

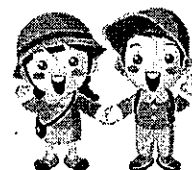
目的	子ども・子育て支援新制度により必要な教育・保育の量的確保のため施設整備を推進する。
----	---



事業概要	平成28年度 整備する保育量（定員の増）	1,210人分		2,016,405千円
	1 既存保育施設の定員増	7園	110人増	1,024,125千円
	2 幼稚園の認定こども園移行	10園	790人増	734,664千円
	3 認定こども園等の新設	2園	180人増	144,366千円
	4 小規模保育事業等の新設	6か所	130人増	113,250千円



【事業計画の全体像】
27年度からの3年間で
3,080人分の定員増！！



<静岡市子ども・子育てプランにおける教育・保育の量の確保の目標>



確保方策	平成27～29年度の3カ年の確保量	
既存保育施設の定員増	17園	300人
幼稚園の認定こども園移行	24園	2,000人
認定こども園等の新設	6園	510人
小規模保育事業等の新設	15か所	270人
合計	—	3,080人

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、8/9)	市債 (80%)	その他	
当初予算額	2,016,405	1,749,022	202,900		64,483
前年度予算額	1,734,314	1,467,722	240,700		25,892

目的	放課後児童クラブの希望者が全員利用できるように施設整備と民間児童クラブへの支援を進めるほか、利用者負担の軽減、開所時間の延長など、運営の充実を図り、利用しやすい環境を整える。
----	---



事業概要	平成28年度 当初の受入れ児童数	4,020人
	1 放課後児童クラブ室の整備 拡充	217,385千円
	○14室のクラブ室整備 (535人)	
		
		
	<p>【事業計画の全体像】 5年間で 78室 2,489人分の受入枠を拡大！！</p>	
	2 放課後児童クラブの運営 拡充	560,783千円
	○開所時間を原則19時まで延長 (従来は18時 (一部18時30分) まで)	
	○世帯の所得やきょうだいの入会状況により利用者負担額を軽減	
	3 民間児童クラブへの助成	36,300千円
	○基準を満たす民間児童クラブに対し運営費を助成	
	○世帯の所得やきょうだいの入会状況により民間の児童クラブの利用者負担額を軽減	

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債 (80%)	その他	
当初予算額	814,468	455,114	32,000		327,354
前年度予算額	785,939	363,960	40,000		381,979

目的	次代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行う総合的な放課後児童対策を推進する。
----	---



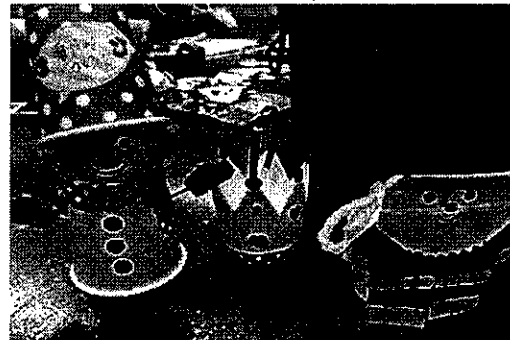
事業概要	<p>地域住民等の協力のもと、放課後に全ての児童が多様な活動に参加できるよう、通い慣れた学校の施設を利用した放課後子ども教室を実施</p> <p>H28年度実施予定 25校 (H27年度 21校)</p>
------	--

放課後子ども教室の活動の様子

(親子寄せ植えづくり)



(クリスマス飾りづくり)



(正月飾りづくり)



(木工作品づくり)





(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	46,641	13,416		10	33,215
前年度予算額	36,821	10,238		1,441	25,142

目的	子どもの将来が、その生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る。
----	--



事業概要	【平成28年度新規・拡充事業】
	1 スクールソーシャルワーカー活用事業 拡充 16,195千円 ・ 福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを市内小・中学校に配置又は派遣し、福祉の視点から問題解決に向けた支援を行う。 ① 人員を8人→10人に増員（平成27年度は5人⇒8人） ② 派遣時間の増加（275時間⇒350時間）
	
	2 生活困窮世帯、ひとり親家庭等の子どもの学習・生活支援 拡充 16,854千円 ・ 生活困窮世帯やひとり親家庭等の子どもに対して、大学生等のボランティアが週に1回・2時間程度の学習・生活支援を行う。 ① 学習支援の拡充（定員を1か所15人⇒20人に増員） （個所数は6か所を維持。（各区×小学生・中学生各1か所）） ② 生活支援の拡充（1か所⇒2か所、定員を1か所15人⇒10人とし手厚く支援）
	
3 児童養護施設、里親家庭の子どもの自立支援 拡充 1,764千円 ・ 大学へ進学した後も子どもがそのまま施設・里親家庭で生活するための費用を支援	
4 ひとり親の資格取得支援 新規 50,000千円 ・ ひとり親家庭の親に対し、資格取得のための養成機関への入学時に50万円、修了し資格を取得した時に20万円を、それぞれ準備金として貸し付ける制度を創設し、就職に有利な資格取得を支援する。	

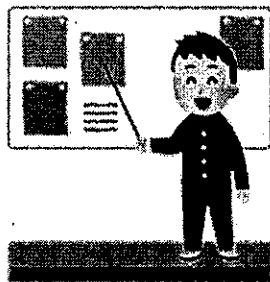
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3, 1/2, 3/4, 9/10)	市債	その他	
当初予算額	218,998	79,177		39,350	100,471
前年度予算額	195,864	44,617		39,443	111,804

目的	若者の社会参画を促し、自己有用感を高めることで、若者が住んでみたい、住み続けたいと思うまちづくりを推進する。
----	--



事業概要	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が誰かの役に立っていると思う子ども・若者の割合：55% ○地域活動への参加経験が高いと自己有用感も高い傾向にある ○若者の社会問題への関与等の意識は諸外国と比べ相対的に低い
	<p>【目指す姿】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">静岡市に愛着を持ち、地域社会を担う人材の育成・若者の市内定着</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">自己有用感を持った子ども・若者の育成</div>
	<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者による、未来の静岡のための政策の検討会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> →検討メンバーの募集（市内在住・在学・在勤の若者） →会議の開催（月1回程度） →市内外への視察研修（2回程度） →政策提案



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	771				771
前年度予算額					